

## 第2学年 国語科学習指導案

対 象 2年1組 男15名 女16名 計31名

指導者 菅原 啓人

- 1 単元名 分かりやすくせつめいしよう  
教材名 おもちゃの作り方 (光村図書 国語2下)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

児童はこれまでの国語の学習において、自分の見たことや聞いたことを相手に分かりやすく伝える活動を行っている。「こんなもの、見つけたよ。」の学習では、自分が見つけたものを1年生に分かりやすく紹介するために、組み立てを考えて紹介文を書いた。「お話のさくしゃになろう」では、物語を書く際にも「始め」「中」「終わり」の組み立てで書くとよいことを学習しており、構成を考えて書くと相手に伝わりやすいことを実感している。しかし、児童が書く文章の多くは、出来事をつなげて書く文章が多く、出来事の順序が伝わりにくい文章となっている。また、自分のしたことや見たことを紹介・報告する文章は多く書いているが、相手に説明する文章を書く経験は少ない。

本単元に関わるCRTアシストシートを用いた「書くこと」の調査では、次のような結果となった。

(H30年8月28日実施)

問題	正答率	誤答例
作文や日記に書く事柄を決めて書くこと。	48.0%	メモの内容に無いことを日記に書く内容として選んでいる。
書くことの順番を考えて書くこと。	67.7%	事実関係の順序が前後している。
言葉のまちがいを見つけて書き直すこと。	48.3%	「食べれる」→「食べられる」と訂正できない。
「が・を・に」を正しく使って書くこと。	96.6%	「うちに」→「うちへ」 「おばあちゃんが」→「おばあちゃんは」等選択肢にない語彙を使って解答している。

上記の結果から、メモをもとに文章を書いていく際のメモを選択し、事実を整理し順序に沿って書くことができるようにしていく。

#### (2) 教材について

本単元を中心となる指導事項として、書くこと「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」と「エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。」を取り上げる。

本教材では、自分が作ったおもちゃの作り方を分かりやすく相手に説明する文章を書く活動を行う。児童は、おもちゃの作り方を相手にわかりやすく伝える文章を書くために、説明する順番を考えたり、書き方を工夫したりすると考えられる。相手意識や目的意識を明確にするために、生活科のおもちゃをつくって遊ぼうと関連させながら指導を進めていく。

本教材の関連として、第1学年では「しらせたいな、見せたいな」「いいこといっぱい、1年生」がある。第3学年では「食べ物のひみつを教えます」、第4学年では「クラブ活動リーフレットを作ろう」がある。

#### (3) 指導について

本単元において設定する言語活動は「2年1組おもちゃ図鑑を作って、1年生におもちゃの作り方を教えよう」である。学習活動に入るにあたり、生活科で「おもちゃ作り」を楽しみ、1年生におもちゃの作り方を教えたいという気持ちをもたせるようにする。そして、「2年1組おもちゃ図鑑を作って、1年生におもちゃの作り方を教えよう」という学習課題を設定し、相手意識や目的意識を明確にして、説明する文章を書く活動を行っていく。また、児童が学習を見通し、理解を深め

るために、教師作成のモデル文を効果的に提示する。単元のはじめでは、あえて不十分なモデル文を示し、実際におもちゃを作らせる。作り方が伝わりにくい説明文でおもちゃを作る活動を体験することで、自分が説明文を書く際にどのように書けば伝わりやすいかを考える基準としていきたい。そして単元の中で不十分なモデル文を子どもたちの気付きや考えをいかして、よりわかりやすい説明文にしていきたい。そして、モデル文を通して学んだことを自分の文章に取り入れるようにさせていきたい。また、単元の中で確かめた分かりやすい説明の仕方を意識しながら何度もおもちゃを作り、説明書のメモを作成できるように、生活科とも関連させながら学習を進めていきたい。

### 3 単元の目標

#### (1) 関心・意欲・態度

- ・1年生に伝わるように、分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとする。

#### (2) 書くこと

- ・説明の順序を考え、言葉のまとまりに気をつけながら文章を書くことができる。
- ・文章を読み返し、間違いなどを正すことができる。

#### (3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・言葉のまとまりを意識して、順序を表す言葉を用いることができる。

### 4 指導と評価の計画

次	時	学習内容	主な評価規準
小1		順序を考えながら、文と文の続き方に注意して書く。 【しらせたいな、見せたいな】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知らせたいことが明確になるよう、書く順序を考えている。(書)</li> <li>・語と語や文と文の続き方に注意して、分かりやすく書いている。(書)</li> <li>・句読点の打ち方やかぎの使い方を理解して正しく書いている。(言)</li> </ul>
一	1	モデル文から学習の見通しをもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を理解し、学習の見通しをもっている。(関)</li> </ul>
二	2	説明する文章の組み立てを考え、分かりやすい説明の仕方を確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明になるように組み立てを考えている。(書)</li> </ul>
	3	メモをもとに、説明の文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモした中身をより分かりやすく伝えるために組み立てを意識して、「始め」「終わり」を構成表に書いている。(書)</li> </ul>
	4	わかりやすい説明の仕方を使いながら説明の文章を書く。 [補]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをもとに、作り方の順序に沿って、はじめに大まかな説明を書き、次にくわしく説明を書いている。(書)</li> <li>・まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。(言)</li> </ul>
	5	書いた文章を読み直し、間違いや分かりやすさに気を付けて書き直す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書いた文章を読み直し、間違いや読みやすさに気を付けて、書き直している。(書)</li> </ul>
三	6	説明書を読み合い、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを振り返りながら、説明書を読み合っている。(関)</li> </ul>
小3		書く事例に沿って事例を挙げながら説明する文章を書く。 【食べ物のひみつを教えます】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書く目的によって必要となる事項と観点を理解し、適切な事例を挙げて説明する文章を書いている。(書)</li> <li>・「中」の部分で、内容のまとまりごとに段落を分け、文章を構成している。(書)</li> <li>・説明するために必要な語句を、辞書を引いて調べている。(言)</li> </ul>

## 5 本時の指導

### (1) 目標

作り方の順序に沿って、文章の冒頭で内容を大まかに説明しながら「中」の文章を書くことができる。

### (2) 評価規準

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	説明する相手を意識しながら、分かりやすくおもちゃの作り方を説明しようとしている。
書く能力	メモをもとに、作り方の順序に沿って、はじめに大まかな説明を書き、次にくわしく説明を書いている。
言語についての知識・理解・技能	まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。

### (3) 展開

段階	学習活動	●指導上の留意点 ◎評価
導入 5分	1 前時の想起 ・隣同士で読み合い、感想を交流する。  2 課題の確認 ・第1時で立てた本時の学習計画を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             1年生に作り方がつたわるように「中」を書いてみよう。           </div>	●「はじめ」と「終わり」ができていることを確認し、本時で学習すべきことを意識させる。  ●第1時で立てた学習計画から児童自身が言葉を選び、学習課題を立てる。
展開 30分	3 解決の見通し ・前単元で学習した「説明ポイント」がモデル文に活かされているか確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作る順序にそって書く →「まず」「つぎに」「それから」を使う。</li> <li>・大まかな説明+詳しい説明の二文で書く。 →はじめに大まかな説明を書く。 →詳しい説明は数字を使う。 →作業の注意点を書く。 →一文を短く書く。</li> </ul> </div> 4 課題の解決 (1) おもちゃの作り方を説明する文章を書く。 ・説明ポイントを使って「中」を書く。 ・作る順序で分けて書く。  (2) 書いた文章を読み合い、説明ポイントが使われているか確認し合う。 ・隣同士で読み合う。	●前時まで学習したポイントが書き込まれたモデル文を提示し、説明ポイントを共通確認する。  ●作り方の順序とは異なる説明や、はじめから細かい説明をかいた説明のモデル文を提示し、学習のポイントを明確にする。  ●順序を考えて書けるように、ワークシートも順序ごとに色分けして提示する。  ●どの説明ポイントを使ったのか説明できるようにしておく。 ●読み手が、使われている説明ポイントを意識

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい文章に修正する。</li> </ul>	<p>しながら読むよう指示する。</p> <p>◎メモをもとに、作り方の順序に沿って、はじめに大まかな説明を書き、次にくわしく説明を書いている。</p> <p>◎まとまりを意識して、順序を表す言葉を用いている。</p>
終末 10分	<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉読する。</li> </ul>	<p>●学習したことを実感するために、全体交流で出た児童の言葉からまとめる。</p>
	<p>つたわりやすいせつめいは、</p> <p>① 作るじゅんじょにそって書くこと。</p> <p>② おおまかなせつめい+くわしいせつめいの二文で書く。</p>	
	<p>6 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめをもとにしてノートに書く。</li> </ul>	<p>●学習内容をしっかりと振り返り次時につなげるために、振り返りのキーワードを提示する。</p>
	<p>(例)・1年生がわかるように、作る順序にそってせつめいを書くことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに大まかなせつめいを書いてから、次に気を付けることや大事なことを書くことができた。</li> </ul>	
	<p>7 次時の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書き上げた文章を読み合い、間違いがないか推敲する必要性を確認する。</li> </ul>	<p>●次時への意欲を高めるために、次時で行う内容を伝える。</p>

(4) 板書計画

